



天城山登山マップ



登山道入り口

家にいながらにして、今が見頃…日本百名山 天城山のシャクナゲを觀賞してみませんか！
安心して晴れやかに登山を、ハイキングを楽しめる日は…きっと、あと少し、もうしばらく…おうち時間を楽しみましょう！

昨年(令和元年)5月中旬…天城高原ハイカー駐車場から、四辻→万二郎岳→万三郎岳→湊沢分岐→四辻→駐車場へ戻る周回コースで「天城シャクナゲ」を觀て来ましたので紹介いたします。

伊豆半島中央に位置する天城山は、深田久弥の選出した日本百名山の一つ、万二郎岳、万三郎岳などの山塊を総称して「天城山」と呼ばれています。例年5月中旬から6月上旬までは「天城シャクナゲ」の咲く季節です。同時期に「ミツバツツジ」も觀賞でき、多くのハイカーが訪れます。

ハイカー専用無料駐車場(88台駐車可)及びトイレのある天城高原ゴルフ場を起点に、四辻～万二郎岳～万三郎岳～湊沢分岐～四辻と周回するコースなので四辻からは左右どちらから廻ってもよいコースです。山マップ参照(写真上左)



四辻から万二郎岳



ミツバツツジ

登山口から四辻までは15分、四辻の分岐を左方向にとり、時計回りの方向で万二郎岳に向かいます(写真上左右)。

<参考>

天城高原ゴルフ場から万二郎岳の間の標識にはA-1～A-26、万二郎岳から万三郎岳の間はB-1～B-18の番号シールが貼られています。万ーの場合は、自分の居場所を知らせる手段となります。



[ミツバツツジ2](#)



[ミツバツツジ3](#)

四辻を通過すると登山道の左右には…美しいミツバツツジが姿を現しました(写真上左右)。



[万二郎岳山頂](#)



[アセビのトンネル](#)

天城高原ゴルフ場から2.3kmの行程を70分で万二郎岳山頂(1,299m)に到着です(写真上左)。小休止をしたのち、アセビのトンネルを抜け(写真上右)万三郎岳に向かいます。

※アセビ(馬酔木)とは→ 春先から木の枝先に白い小さな花を咲かせます。「馬」が食べると毒にあたり

「酔う」が如くふらつく「木」という所から付いた名前とされています。



[シャクナゲ1](#)



[シャクナゲ2](#)

馬の背(標高1,325m)を通過し石楠立(はなだて)に35分間の歩行で到着しました。この近辺が天城シャクナゲの群生地です(写真上左右)。天城シャクナゲは一般的なシャクナゲより、花弁が若干ピンクっぽいのが特徴のようです。



[案内板](#)

[シャクナゲ3](#)

天城シャクナゲは、万三郎岳また長九郎山などの天城連山一帯の岩場に分布する、伊豆半島固有の常緑で低木です。樹高は2～3mになり葉は革質で表面に光沢があります。5月中旬から6月上旬に美しい薄桃色の花が一面に咲きます(写真上左右)。



[シャクナゲ4](#)

[シャクナゲ5](#)

石楠立から万三郎岳の登山道沿いには多くのシャクナゲが咲き…心癒されました(写真上左右)。



[シャクナゲ6](#)

[万三郎岳山頂](#)

石楠立から万三郎岳へ向かう道中、シャクナゲを觀賞しながら楽しく歩くこと35分 山頂(1,406m)に到着です(写真上左右)。



[シャクナゲ8](#)

[シャクナゲ7](#)

万三郎岳山頂から天城シャクナゲを楽しみながら…湊沢分岐点→菅引分岐→四辻→出発点の天城高原ハイカー用駐車場まで歩行時間120分で到着。

総歩行時間: 4時間15分 標高差355m

<参考>

5/22(金曜日)から天城高原ハイカー用駐車場の閉鎖が解除となります。
(5/19 伊豆市観光協会へ確認済)

取材: 中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章